

自治体の課題、現状

- ・今後少子化が進み、本市の中学生の数は令和8年度は1834名に対して、10年後の令和18年は1179名と、655名減少する。部員が減少することで、十分な人数での活動が困難となり、スポーツ・文化芸術活動の楽しさや良さに触れる機会が減少し体験格差が生じている。
- ・現在、生徒の新たな活動の場を各競技の連盟、協会と協力して整備している。今年度は、置賜地区吹奏楽連盟の協力のもと、3クラブにおいて地域クラブを立ち上げ、先行して実証事業を実施した。
- ・活動が始まって間もないため、特に保護者の理解が進んでいない。アンケート調査を行った結果、月謝・移動手段・指導者への不安が多く上がった。今後も丁寧な説明が必要である

地域文化クラブ活動等の概要

中学校数	7校	全生徒数	1931人
域内の部活動数	12部	実施した地域クラブ数	3クラブ
全体の指導者数	21人	全体の運営スタッフ数	10人
主な運営団体	置賜地区吹奏楽連盟		
主な種目	吹奏楽		
平均的な活動回数	3回	年間平均参加生徒実数	1年：14人/クラブ 2年：12人/クラブ
参加会費	1800円	主な活動場所	市内中学校

地域移行関連の取組、成果

- ・指導者の確保について、連盟・協会が中心となり、指導経験がある方を中心に広く呼び掛けたことで、指導経験豊富な指導者に指導してもらっている。
- ・活動するクラブ数を検討し、適正な規模で実施することにより、日頃行うことができない練習（合奏や複数人数でのパート練習等）を行うことができ、競技の専門性に触れることができた。
- ・活動を大なっていくうえで保護者の理解が重要になってくる。プリントによるお知らせや説明会を通して、少しずつ活動の趣旨やねらいが周知されてきている。

運営体制図

